



# 株式会社 宮商

人を生かし、商いに活かす。

- 1) 設立 1978年
- 2) 資本金 2000万円
- 3) 本社 東京都世田谷区野毛 3-18-2-101
- 4) 宇部支店 山口県宇部市善和牛明 387-35
- 5) 社員数 約80人
- 6) 事業内容 セメント原料取り扱い商社  
ポリシリコンの受託加工



## 従業員は女性が100%（2022年） 女性の能力を最大限活かせる理由とは？

女性の割合が高い理由は、弊社が主に扱う、ポリシリコンという資材の特性にあります。シリコンの純度を保つ観点から、多くの工程が機械化される中、破碎の工程は繊細が要求される技術職となっています。この技術が生産性を左右するため、女性主体の生産体制が整っており、今に至っています。

もう一つは働きやすい環境整備を促進したことです。現在、製造業における女性管理職の育成は大きな課題です。



やまぐち女性活躍応援団  
地域シンポジウム in 宇部  
代表取締役専務 宮下悠子氏  
発表  
(2022年10月18日)

## 宮商の働き方に関する主な取組 ～7つの取組で、自ら考え、自ら行動する女性を支える～

宮商では4つの柱で制度を構築し、働きやすさを充実させてきました。

4つの柱とは、働き方、キャリア形成、女性や育児の応援、社内や地域の交流です。

宮商が女性活躍で最も重要だと考える「ワークライフバランスの実現」を目指し、以下の7つの取組で、自ら考え、自ら行動する女性を支えています。

### ① 残業を発生させない

- ★ 17時15分までの退社の徹底。
- ★ 「原則残業なし」は、創業当初からのルール。

### ② 時短勤務／時差勤務の推奨

- ★ 突発的に発生する家庭の事情への対応。
- ★ 子どもが関係する行事への参加への対応。

### ③ 家庭の事情等から多く働きたい方への対応

- ★ 1人月2回程度までの休日勤務の承知。

### ④ 障がい児保育へ注力 こども園に優先入園する体制

- ★ 障がい児保育に特化した保育施設との連携による子育て支援。

### ⑤ 病児保育へ注力 病児保育に係る費用の全額会社負担

- ★ 病児保育に取り組む民間医療機関との連携による子育て支援。

### ⑥ 女性活躍制度についての相談窓口の設置 女性の妊娠・出産・復帰に係る社内研修

- ★ 社内の制度活用や女性としてのライフイベントに寄り添う支援。

### ⑦ 顧問社会保険労務士による最新の労務条件等に関する研修

- ★ 労働に関する権利や条件などを従業員一人ひとりに知ってもらうための機会創出。

## 宮商で活躍する女性たち

これらの取組の結果、育児休暇取得率 100%、職場復帰率 100%、女性管理職 100%という3つの100%を達成しました。

宮商で働く女性従業員の平均年齢は45歳で、30代、40代の子育て世代の割合が高くなっています。

また、フォークリフトの運転に関し、管理職は全員免許を取得しています。社内アンケート行いましたが、意欲のある希望者が多くいました。

女性管理職の育成に向け、リーダーシップ研修を年間通じてフィードバックしながら行っており、管理職としての能力を身に付けて欲しいと考えています。

宮商の女性管理職の声として、管理職の中心的存在である、中野さんにインタビューしました。



名前：中野さん

社歴：25年

役職：作業管理責任者、  
管理課長

- ランチ会では、お弁当やお菓子が会社から支給される。皆と一緒に食べることはとても楽しい。
- 親の介護をしながら仕事をしているので、時短勤務や急な休暇も取りやすく融通が利く点が良い。
- 有休をとってもらえるように管理する立場になり、会社全体の有休消化率の維持と向上を図っている。
- とにかく有休のとりやすい会社。また、産休・産後復帰も100%。
- とても女性が働きやすい職場なので、ぜひ、一緒に働きましょう。

## ワークライフバランスの実現に必要なことは？

### ～会社のルールと社員の意識が作る会社の風土の一体化～

これらの取組は、会社の風土がないと全く機能しません。その風土とは、社員が会社に貢献する意識を持つことです。

例えば、「残業を発生させない」取組は、就業時間内に、生産性を落とさない意識を持つことを社員自身がたくさん努力して考えた結果、初めてできることです。

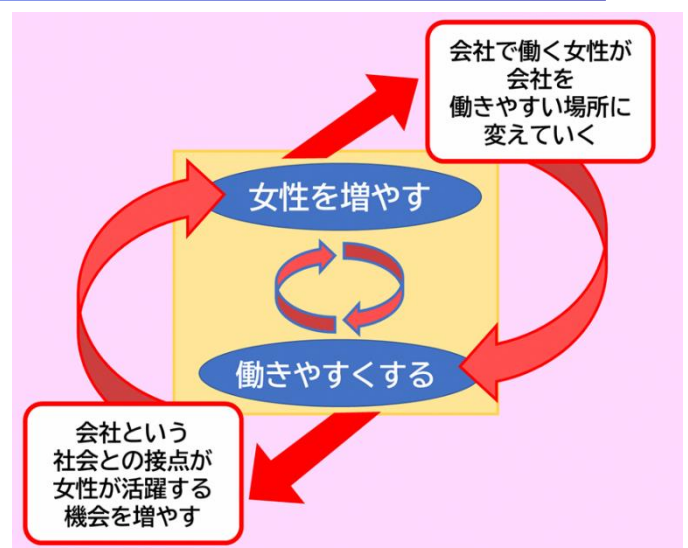
ワークライフバランスを実現するとき、会社で準備するルールと社員自身が作り上げる風土が一体となるのが、何より企業の女性活躍に大切だと考えています。

## 「女性が活躍する会社」から「活躍する女性を育む会社」へ

### ～社会で自立する女性を増やし、幸せな地域を創造～

深刻な少子高齢化や、人口減少を考えますと、中小企業、特に製造業の人材確保が最重要課題です。ますます女性の活躍が必須になってきます。ダイバーシティという観点から考えますと、宮商の女性だけの工場がベストかという、そうではないと思っています。弊社は視野をさらに広げ、多様性を考えることが大切です。

社会で自立する女性を増やし、幸せな地域を創造する、宇部市の篠崎市長は子育て支援にとっても注力されています。宮商もそれに追随したいと考えています。豊かな社会の実現に向けて、家族の時間と楽しく仕事をする事の両立を、企業として更に推進してまいります。



社業を通じて社会で自立する女性を増やし、  
幸せな地域を創造する。

豊かな社会の実現に向けて、  
【家族の時間】と【楽しく働く事】  
の両立を、企業としてさらに推進する。